じんそくけんさ

ウイルス迅速検査ってなあに？



©joshibi

じんそくけんさ

ウイルス迅速検査ってなあに？

みなさんのまわりには目に見えないとても
小さな「ウイルス」というバイキンがいます。
悪いウイルスがからだに入り込むと…



熱が出たり、くしゃみやせきが出たり、のどや
おなかが痛くなったりします。



ウイルス迅速検査では、のどや鼻水、うんちなど
からウイルスを見つけ出します。
のどや鼻に綿棒を入れてウィルスを採る時に
少し痛いかもしれないけど、しっかり検査する
ためにちょっとだけがまんしてね。



細菌検査室から保護者の方へ

ウィルス迅速検査は、インフルエンザウイルス、アデノウイルス、ロタ・ノロウイルスなどの病気の原因となるウィルスを調べる検査です。

鼻やのどに綿棒を入れて採るぬぐい液や便などを検査して、**約10～15分**程度で検査結果が分かります。

・ウイルスがいる　→検査結果：陽性
・ウイルスがいない →検査結果：陰性

結果により、お子様に合った治療を行います。ただし、病気になってすぐや採取した検査材料の状態によっては、ウイルス量がとても少なく、検査結果が陰性（見つけられない：偽陰性）になる場合もあります。

ウイルスはせきやくしゃみなどで飛んだ唾（飛沫）が鼻や口の粘膜に触れることによって感染します。たくさんの人が触れるような場所を触った手で鼻や口の粘膜を触ると、ウイルス感染が拡がる可能性があります。

感染予防のために、お子さまと一緒にきちんと手洗いをしましょう。

